

【Game Report】

試合区分	マスターズ2013北九州大会
日時	平成25年9月17日(火)
会場	総合体育館
試合	男子 準決勝 Cコート 10:00
審判	柿原、赤岩、松木

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
新潟A	20	11	19	11	61
東京	24	18	25	12	89

選評

第1P 両チームハーフコートマンツーマンでスタート。東京は#8・#18のローポストアタック、#5・#7のアウトサイドシュートを中心に攻撃、新潟は速いランジションから#8のミドルシュート、#9のレイアップが決まり、20-24東京の4点リードで1Pが終了した。

第2P 新潟#10のターンオーバーでスタート。新潟は粘り強くディフェンスをするものの東京の高さを生かしたオフェンスリバウンドに苦しみ、セカンドチャンスを次々に決められる。6分、新潟#8の3P、#6のミドルシュートが決まり、3点差まで詰め寄るものの、新潟のポイントガード#4が4ファールでベンチへ。その後、東京#10の速攻が連続して成功し、31-42東京の11点リードで前半が終了した。

第3P 新潟#12のミドルシュート成功でスタート。しかし東京は#7の1on1、#8のローポストアタック、#5のドライブから#18の合わせ、#5の3Pが成功。19点差に広がった残り6分で新潟がタイムアウト。タイムアウト後、新潟は#12の3P、#8・#6のミドルシュート、#12”のスチールからの速攻が決まり、10点差になった時点で東京がタイムアウト。東京は再び、#8のインサイドを中心に加点し、50-67東京の17点リードで3Pが終了した。

第4P 東京#8のアンスポでスタート。新潟#8のドライブからのシュートがバスケットカウントとなり、14点差とするものの、東京は#8・#18のハイ・ローポストプレイ、#7の1on1で徐々に点差を広げる。その後新潟は#5の速攻、#8のミドルシュート、#4のドライブで攻撃を仕掛けるも、東京はインサイドを中心に点差を広げ、61-89で東京が勝利した。

記録者:小長光

チームA 新潟A							チームB 東京						
NO	Player	FIELD GOALS				PF	NO	Player	FIELD GOALS				PF
		2P	3P	FT	TOT				2P	3P	FT	TOT	
4	柳原 久人	1		2	4	4	難波 宏光	1			2		
5	丸山 勝雄					5	三木 力雄		4	1	13		
6	星 一哉	5			10	6	柴山 知千						
7	佐藤 豪					7	外山 英明	11		7	29		
8	新木 光貴	4	4	1	21	8	八百板 希望	3			6		
9	奥山 善次	3		1	7	9	中野 岳治						
15	加藤 伸行					10	高橋 明彦	6			12		
11	太田 貴治					11	本告 智洋	2			4		
12	広川 誠	4	2	1	15	12	杉浦 文彦						
13	西巻 仁					13	越智 直彦						
14						14	篠辺 和宏						
10	本間 太郎	1			2	15	長谷川 聡	2			4		
16	小野 直	1			2	16	岸 哲也						
17	増田 一弘					17	田上 喜一郎						
						18	橋本 晃司	7		5	19		